

自治会報

さがみはら

No.63

平成25年(2013)11月発行
発行部数 20万部

発行責任者 相模原市自治会連合会 会長 田所 昌訓

題字 相模原市長 加山 俊夫

つくりだそう自治の力で明るいまちを

相模原市自治会連合会の現況

地区自治会連合会数	22
自治会数	593
加入世帯数	179,231 世帯
班(組)数	11,892

H.25. 4. 1 現在

ホームページ <http://www.sagamihara-jichiren.jp/>

相模原市自治会連合会 検索

事務局 〒252-0236 相模原市中央区富士見6-6-23 けやき会館内 TEL.042-753-3419 ●〒252-5277 相模原市中央区中央2-11-15 相模原市役所市民協働推進課内 TEL.042-769-8226

活力あるまちづくりをめざして

平成25年度 自治会大会が開催されました



相模女子大学GRAMPUSチアリーディング部 (相模女子大学提供)



相模原市立大沢中学校吹奏楽部

7月6日(土)に平成25年度自治会大会を開催しました。

当日は、相模原市長をはじめ、衆議院議員、県・市議会議員などのご来賓及び多くの自治会員の皆様にご来場いただき、会場も一杯になるなど盛大な大会となりました。

第1部の式典では、地域活動功労者として、個人116名、7団体、退任理事2名に感謝状が贈呈されました。

また、第2部の前半では、相模原市立大沢中学校吹奏楽部の素敵な演奏が披露されました。心を一つに音楽の楽しさを全身で表現され、観客のみなさんと一緒に音楽を作っていく素晴らしいパフォーマンスでした。

第2部の後半は、相模女子大学GRAMPUSチアリーディング部の演技です。「見ているひとに笑顔を提供しています。」と部の紹介をされている通り、部員のアクロバティックな演技に会場は大いに盛り上がりしました。

田所会長あいさつ (要旨)



皆様方には土曜日の何かとお忙しいところ、このようにたくさんのお仲間にご参加いただいたこと、厚く感謝申し上げます。

いつもは市民会館で開催しているところですが、今年は改装の年ということもあり、あじさい会館で開催する運びとなりました。都合により、各地域において参加人数の制限をさせていただきましたことに対し心苦しく思っており、また、受賞される皆様におかれましても、多くの会員の方々の前で受賞していただきたかったです。お許し願いたいと思います。

防災訓練、防犯パトロール、登下校時の児童の見守り等、自治会活動をそれぞれの地区で工夫を凝らしながら、地域の実態に合わせ自治会員の皆様のためにいろいろな活動を続けていただいております。地域のための地域づくり、自治会員の皆様の幸せのために様々な形でご苦労いただいていることに改めて感謝申し上げます。

本日受賞される皆様には、長年これらの活動を支えていただきました。感謝状と

いうことでささやかではありますが、相模原市自治会全体としてお礼を申し上げたいと思います。

相模原市自治会の加入率については、わずかですが下がってきています。会員の総数は約18万世帯と減少しているわけではありませんが、会員を増加させることは、地域づくりを一層進めることにつながるという思いがします。

そこで、市への政策要望の中で加入促進に対する市の支援を求めた結果、緊縮財政でありながら、自治会の加入促進、自治会活動の活発な展開を図っていくための予算増額を市に行っていただきました。この予算を大切に使いながら、自治会員はもとより、自治会に入っておられない方々も含め、相模原市に住んでいてよかったという地域に少しでも近づくようにすることが、我々自治会の役割であると思います。これからも、地域の実態に合わせてより細かな活動ができるように一歩ずつでも前進できればと思っております。

日ごろの活動に感謝を申し上げながら、自治会の存在意義を確認できる大会にしていただければ幸いです。今後とも皆様方の活発な活動をお願い申し上げます。

連携基本協定締結

8月28日(水)に相模原市自治会連合会と相模原市は、更なる連携強化を図り、協働による取組みをより一層推進していくため、「連携基本協定」を締結しました。

【協定の主な内容】

- 事業の目的共有や相互理解といった連携強化のための基本原則
- 協働により取組む事項
 - ・ 防災、防犯、環境美化などの地域活動
 - ・ 自治会の活動、役割の周知及び自治会への加入促進
- 各地域の自治会の自主的・自立的な活動支援等に向けたそれぞれの役割

【効果・今後の取組み】

- 自治会の役割や必要性の再認識
- 自治会の活動基盤の強化
 - ・ 自治会加入促進重点プロジェクトの立ち上げ



加山市長(中央)、小池副市長(右端)と市自治会連合会役員

各活動事例紹介

南区会場 6月15日(土)

○ルネ東林間自治会 『マンションの防災対策～ルネ東林間自治会の取組み～』
自治会の加入率は67パーセントであるが、管理組合とタイアップし「全住民参加型」の「防災対策協議会」を組織していること、また、マンションの防災対策として安否確認票を全戸に配るなどの取組みをしていることについて説明がされた。
(参加者の意見・感想)
・安否確認票は参考になった。防犯ブザー等「音」の出せるものも役に立つかも。
・他の自治会の取組みを知ることにより、自身の活動と比較することができ、視野が広がる。

緑区会場 6月16日(日)

○森戸自治会 『黄色い小旗による安否確認事業活動報告』
大地震などの災害時に、「わが家は大丈夫だから、ほかの人を助けてほしい」という目印として、外から見やすい、玄関などに「黄色い小旗」を掲げ、安否確認を短時間で、効率的に行う安否確認事業について説明がされた。
「阪神淡路大震災」や「東日本大震災」といった大災害を教訓に、「自助」「共助」の観点から取組まれたとのことである。
(参加者の意見・感想)
・安心・安全の基礎として理解でき、参考となった。私たちの自治会に適用できるよう工夫したい。
・新しい知見であり、導入について検討したい。

中央区会場 6月22日(土)

○中央地区青少年健全育成協議会 『もみの木コンサート～音楽でつながる地域の絆、支えあいの心～』
平成14年にスタートしたもみの木コンサートは、東日本大震災を契機に、「地域へ拡大し、自助・共助、支えあいの意識を高揚させることにつなげたい」と考え、第10回の記念事業から新たな視点で取組まれた。その結果、連携の重要性が再認識され、温かい心の通い合いが醸成されたなど、取組みの成果について説明がされた。
(参加者の意見・感想)
・地域の活性化にどうつながっていくか気になったが、地域との結びつきがよく分かった。今後も活動を続けていただきたい。
・地域のコミュニケーションを深める事業としてはいい事業である。



新任自治会長研修

今年度新たに就任された自治会長を対象に、「新任自治会長研修会」を6月に開催しました。本研修会の実施は、市自治会連合会として5回目となり、3日間で合計178名の新任自治会長の皆様にご参加いただきました。
研修会では、「相模原市の

自治会の概要」や市自治会連合会及び相模原市の協働による発行の「自治会活動の手引き(運営編)」、(加入促進編)の説明、研修会場周辺の自治会関係者による「活動事例紹介」を行い、その後、これからの自治会の在り方について、今自治会に求められていること、をテーマに「グループ討議」を行いました。
討議では、日ごろの自治会活動における悩みや、自治会員の高齢化など自治会が抱える課題等、様々な視点から活発な意見が交わされたいへん意義のある時間を過ごすことができました。
自治会の加入率向上は、自治会活動が今後も活発に展開していくためには喫緊の課題です。
来年度も地域の新しいリーダーの皆様に対する支援のひとととして、アンケートでいただいたご意見を踏まえ、改善しながらこの研修会を開催していきたいと考えております。

Table listing names of individuals and groups, categorized by region (e.g., 相模台, 東林, 津久井, etc.) and type (個人/敬称略, 団体).



Table listing names of individuals and groups, categorized by region (e.g., 相模台, 東林, 津久井, etc.) and type (個人/敬称略, 団体).



表彰者



平成25年度定期総会が開催されました
6月8日(土)、午後1時30分から、けやき会館で各地区から選出された委員が出席し、平成25年度定期総会が開催されました。(出席77名、委任状提出29名)
来賓としてご出席いただいた小池副市長、須田市議会議長及び戸塚市社会福祉協議会会長からの祝辞のあと、門倉委員(光が丘地区)及び嘉松委員(東林地区)が議長に選出され、各委員の熱心な討議の結果、次の議案・報告が可決・承認されました。
議案
①平成24年度事業結果報告
②平成24年度収支決算報告
③会計監査報告
④平成25年度事業計画
⑤平成25年度収支予算

A grid of circular portraits of individuals, each with their name and title (e.g., 会長, 副会長, 理事) listed next to them.

私達が、平成25年度相模原市自治会連合会役員・理事です。
よろしくお願ひします。

人物紹介

今回は、過去、「小山地区自治会連合会」の会長、市自治会連合会の理事及び監事、「相模原市美術協会の会長として活躍され、また、「小山音頭」、「すずきの音頭」、「相模ねぶた音頭」、「小田急線延伸音頭」の作詞をされた経歴を持つ、「小山地区にお住まいの「岸久夫」さんにお話を伺いました。



岸さん (小山地区)

相模原市には、ずっとお住まいですか？

出身は厚木市ですが、結婚を機に引越してきました。その後はずっと相模原市に住んでおり、早いもので50年ぐらいいなりました。

「小山音頭」、「小田急線延伸音頭」などの作詞や市美術協会の会長をされてきましたが、芸術分野に興味をもたれたのはいつごろからですか。

小さいころから絵に興味があり、中学・高校と美術部に所属していました。今でも水彩画などを描いています。また文章を書くことも好きでした。好きが高じて、今では風景画とその風景の説明で構成した本、「心に残る風景」をこれまで5巻出版しております。

作詞については専門的に勉強したことはなく、独学です。

どのような思いで「小山音頭」などを作詞されたか。

区自治会連合会の会長であったということもあり、これを呼び水として地域が盛り上がり、活性化につなげたいという思いでした。

「小田急線延伸音頭」は、小田急線が唐木田駅から市内に延伸されることの願いをこめて、そして、更なる交通機関の充実を希望し作詞しました。

小山地区ふるさとまつりでこれらの曲が流れ、地域の皆さんが大きな輪を作り、楽しそうに踊られている様子を伺うと、多少なりとも地域交流のお役に立てたのではないかと考えております。

様々な活動をする上で重要なことは何ですか。

「小山音頭」を例にとると、作曲は篠崎明弘さんと、作詞は篠崎明弘さん、演奏は相模原市民謡協会の皆さん、振り付けは小山地区有志の皆さんというように、多くの方々のご協力をいただいで制作いたしました。

自治会活動をはじめ、地域活動は基本的にボランティアです。地域活動は、たくさんの方々のご協力、ご支援があつてその活動が成り立っておりますので、常に感謝の気持ちを忘れないようにしています。

また、実施する側も活動を楽しむことが非常に大切だと考えています。

今後の抱負は

小山地区はもろろんのこと、相模原市自体が市民に愛され、住みよいまちになるよう常々考えております。

そのために、小田急多摩線の延伸、また、小山地区には、相模総合補給廠もあることから、補給廠の一部返還、共同使用が早期に実現することを願うとともに、今後も活動していきたくと思っています。

「我が家は大丈夫！」黄色い小旗で安否確認

橋本地区自治会連合会 会長 草野 寛

災害が起きた時には「自助」「共助」の取組みが非常に重要で、橋本地区自治会連合会では、防災意識の向上や災害時に隣近所同士の迅速な安否確認を習慣づけることを目的に、大地震などの災害の時に、自分の家は「大丈夫だよ」というサインとして、玄関等に黄色い小旗を掲げる「安否確認事業」に取組み予定です。この事業は、地域防災力の強化や地域の連帯意識の高揚を図ることを目的に実施する



黄色い小旗で安否確認

ものですが、地域が一体となって取組むことにより、交流の場が広がり、地域の活性化や自治会の加入促進につながっていくと、期待をしております。

黄色い小旗の実施や自治会の加入促進は、単位自治会長をはじめ会員の皆様の協力なしでは行えないものと考えております。

今後は当地区がより一層、住みよい街になるよう取組んでまいります。

グラウンドゴルフで地域交流と健康促進

中央地区 相生自治会 会長 榎本 光男

近年、地域住民の高齢化や、独居者が増加している現状をふまえ居場所づくりも重要なテーマと考えられます。

単一自治会の枠を越えた地域交流と健康促進を目的に、適度な運動と競技性を楽しむ大勢の方が参加できるグラウンドゴルフが無理のないスポーツと思いました。

近隣の自治会長に声をかけると、ぜひ一緒にやりましょうと即決となりました。昨年の11月30日に体験大会を相生



グラウンドゴルフ



大沼の歴史と大沼土窯焼き唄の伝承について

大沼中地区 西大沼中央自治会 会長 澁谷 勇

私たちの大沼地区は、1699年(元禄12年)主に木曾村及び淵野辺村からの入植者による新田の開発が始まりました。

1707年(宝永4年)に検地が行われ178町歩、高379石余りの大沼新田が成立しました。宙水(局地的に地下水が浸み込まない所)と雨天時の溜まり水を水源とする大沼では開かれた水田を潤すには足りず、開墾地は大沼



相模原市古民家園「民俗芸能公開 DAY!!」出演

沿付近を除いていずれも畑でした。地味に乏しいために畑からの収入も少なく、農閑期には雑木林(現在の「こもれびの森」)で育てた木々(クスギナラ)を原料とした木炭及び養蚕で収入を得ていました。こうした木炭を生産するための炭焼き窯を築く時に唄われたものが、「土窯焼き唄」です。



再現した土窯前での大沼土窯焼き唄保存会の皆さん

むかし昔 No.50

地域の心の拠りどころ 二宮神社

相模台地区

自治会連合会会長 坂本 堯則

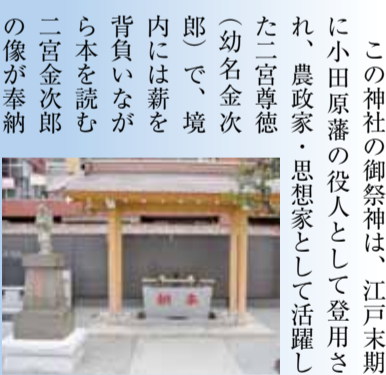
「なりたち」

小田急相模原駅を幸道路沿いに町田方面へ向かうと、左側に二宮神社があります。

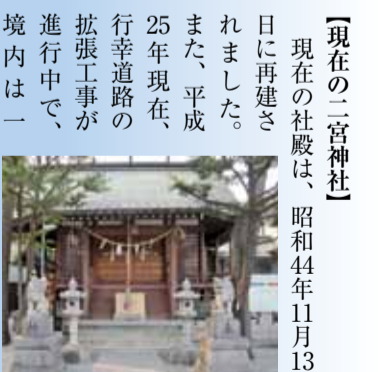
この地域は、明治13年、綾瀬村(たてかわ)の実業家平出富士太郎が一面原野であったこの地の開発を呼びかけ、8名の協力者とともに切り開きました。



外観全体



尊徳像



本殿



絵馬

終戦後、地域の人々は、荒廃した心の拠りどころとして、また地域の活性化を願って、この地に神社の創建を考えました。農村地域

では、県内に生まれた農村振興の偉人、二宮尊徳を崇敬する気風が盛んとなっていたことから、昭和22年に小田原市の報徳二宮神社より分霊を受けて、現在の二宮神社が建立されました。

【御祭神 二宮尊徳】 この神社の御祭神は、江戸末期に小田原藩の役人として登用され、農政家・思想家として活躍した二宮尊徳(幼名金次郎)で、境内には新を背負いながら本を讀むの像が奉納

【現在の二宮神社】 現在の社殿は、昭和44年11月13日に再建されました。また、平成25年現在、行幸道路の拡張工事が進行中で、境内は一

新されています。 普段から先人への感謝やお願いごとなどでお参りする人は多く、初詣、秋の例大祭や七五三などの行事では、地域内外から多くの人が集まり、大変な賑わいを見せています。 また、地元自治会の夏まつりなどの行事も行われ、地域の交流の場となっています。先人の人達が願ったとおり、相模台地区は発展を続けており、二宮神社はそれを静かに見守ってくれています。

第5回 緑区 ③ 相模湖・藤野地区



みんなで行こう 憩いの場!!

各区の見所紹介



12 陣馬山 (標高857m) 関東山地の東縁に位置し、広く平坦な頂上のため、陣馬高原とも呼ばれ、関東の富士見百景、かながわの景勝50選に選ばれている。



11 緑のラブレター 中央自動車道から南の山の中に目を向けると、山間にひときわ目に付く「ラブレター」。「森と湖からのメッセージ」をコンセプトに藤野に移住してきた芸術家により製作された。今や、藤野のシンボルとなっている。



1 県立相模湖公園 美しい相模湖と周囲の山々が一体化した素晴らしい景色とともに、釣りやボートなどが楽しめ、最近話題の観光スポットとなっている。



2 相模ダム 昭和22年に完成した神奈川県で最初の大規模な多目的ダムで、発電や県民の水道用水に利用。



3 嵐山 (標高406m) 相模湖の東に隣接する低山で、山頂からの眺めは「かながわ景勝50選」に選ばれている。



18 ふじのね JR中央線「藤野駅」構内にある観光案内所。地域の古民家の廃材を使用した棚や机が田舎の暖かい雰囲気を演出している。



14 吉野宿ふじや 江戸時代に整備された五街道のひとつである「甲州道中」10番目の宿場。日本橋と甲府の中間に位置し、参勤交代の際に利用する本陣・脇本陣があった。「ふじや」は、もとは旅人用の宿屋。



16 峰山 (標高570m) 旧牧野村のほぼ中央にあり、この山の頂上平坦部には、古峯神社が建立されている。峰山には4本の参詣道があり、頂上より少し下がったところに「風神」「竜神」「水神」の三つの石塔が造立されている。



15 やまなみ温泉 のどかな里山にある閑静な天然温泉施設。周囲は里山の山々が連なり、四季折々の自然を満喫しながら入浴できる。



17 県立藤野芸術の家 豊かな自然の中で、いつでも誰でも陶芸や木工、ガラス工芸を体験！宿泊施設、ホール、スタジオもある。



7 さがみ湖 プレジャーフォレスト 敷地45万坪の自然型遊園地で、アウトドアフィールド施設が充実。新たに日帰り温泉「うるり」を開設。冬のイルミリオンは有名。



4 顕鏡寺と石老山 (標高694m) 第三紀層のれき岩が分布する石老山の中腹には、平安時代に建立された顕鏡寺があり、巨大な奇岩怪石を見ながらのハイキングコースが人気。



5 弁天橋 城山から嵐山に向かうハイキングコースの途中、相模川に架かる赤い吊り橋(弁天橋)から眺める相模川の景観は圧巻。



6 小原宿本陣 甲州街道中の宿場本陣として県下で唯一現存する、県の重要文化財で、近くには本陣を紹介した小原の郷がある。



9 桂林寺 (通称 半僧坊) 西暦1345年に開山され昭和31年に再建された臨済宗建長寺派の古刹であり、庭が美しく、また景信山の眺望が素晴らしい。



8 寸沢嵐石器時代遺跡 (国指定史跡) 昭和5年に国の史跡となった縄文中期約4千年前の住居跡があり、その後の調査により古代から人が集団的に住んでいた地とされている。



18 ふじのアートヴィレッジ 9つのコンテナギャラリーが立ち並び楽しいアート市場で、藤野を中心として活躍するアーティストとクラフト作家が集合している。



19 藤野園芸ランド遊歩道/芸術の道 「森林浴の森 日本100選」にも選ばれた広葉樹林に囲まれ、農村風景が残るのどかなコース。また、地域一帯は「芸術の道」となっており、所々に野外彫刻が展示してある。



10 照手姫伝説「七ツ淵」 照手姫は、小仏峠の麓、美女谷の生まれと伝えられ、美女谷川上流の七ツ淵で髪を洗ったとされている。



20 佐野川地区 (日本の里100選) 藤野地区の最北部に位置し、陣馬山の麓であることから、ハイキングコースの入り口としても人気。斜面に広がる美しい茶畑や竹林、土蔵のある町並みを見ることが出来る。

ご案内とお願い

「自治会報 さがみはら」は、皆様の会報です。自治会・地域での様々な活動・話題などの情報やご意見をお寄せください。

お問い合わせ

相模原市自治会連合会事務局 042-753-3419 E-mail:info@sagamihara-jichiren.jp

- 自治会報さがみはら編集 広報部 嘉久保田 皓 (東林) 佐藤重夫 (新磯) 阿部明義 (大野中) 榎本光男 (光が丘) 手塚勝司 (中丸山) 落合一郎 (小久井) 細谷正史 (津久井) 澤塚あつ子 (橋本) 佐藤幹夫 (相模湖) 竹田堯則 (相模台) 坂本亮 (星が丘) 本 則 (相模台)